



3年生：地域の人から学んで食して知った感動学習！

3年生は社会科の授業で「ものづくりの工程」を学んでいます。7月2日には、地域にある「長良ういろ」の方に来ていただき、直接お話を伺い学びました。ういろ屋さんの始まりは、お米を収穫した際に出た割れたお米を米粉にして、ういろを作って近所に振る舞うと「美味しい」と評判になったことからだそうです。現在の工場では、「お客さまに、美味しく安全に食べていただきたい」という願いをもって、7人のういろ職人さんで作ってみえます。特に伝統の味ともちもち食感にこだわっているため、創立当初から60年近く、分量と工程は変わらないことも教えていただきました。また、岐阜の食文化の魅力を発信することも含めて、春には桃ういろ、夏には枝豆ういろ、秋には柿や栗のういろ、冬には生チョコういろと季節によって中身が変わり、今までに350種類ものういろを作られていることも分かりました。そして最後に「一人より10人の考えでよりよいものができる」という言葉をいただきました。



【ういろ屋さんの講話の様子】

「長良ういろ」は岐阜のお土産として売られています。そこには、岐阜県を知ってもらうための食材の工夫と工程の安全管理がたくさんの人の手で成されています。ここに、岐阜を代表するお土産のプライドを感じました。3年生の子どもたちは、知りたいことをたくさん質問し、地域のういろ屋さんの地域を思う気持ちが食べる人の笑顔をつくる新たな挑戦につながっていることを学びました。授業後、3年生の子どもたちは、山県市の特産品でもある桑の木豆の入ったういろを「美味しい!」「もっちりもち!」と笑顔満開に喜んで食べていました。

褒めて育てる ～我が子の強みを伸ばす日常の言葉がけ～

72日間の1学期間、子どもたちはそれぞれの学級でたくさんを経験し、仲間と一生懸命学び合い学級や学年の宝物を創りました。仲間のよさを見つけ自分から積極的に伝える高富っ子の笑顔はすてきです。美しい心の花が咲き、まさに「どの花見てもきれいだな」と言える日常が創られた1学期でした。



いよいよ、明日からに夏休みに入ります。ご家庭におかれましては、長期の休みに「継続すること」や「チャレンジすること」を考えてみえると思います。子どもたちにとって、夏休みは大変楽しい時間です。ここで体験する出来事や家族からの言葉がけは、大きな意味をもちます。命の安全を第一に考え、有意義な39日間となるように、我が子の強み（よさ）をたくさん見つけて、褒め言葉で伝えてください。子どもたちの夢や希望、未来への思いは、きっとこうした日常の中で育まれていくものだと思います。

(校長 奥田 宣子)

8月の行事予定		
27	水	2学期始業式 夏休み宝物展 14:00～16:30
28	木	ぐんぐんテスト 夏休みの本返却 夏休み宝物展 9:00～16:30 スタディハビット⑩
29	金	夏休み宝物展 9:00～12:00
30	土	
31	日	
9月の行事予定		
1	月	5年：川のアクティビティ
2	火	
3	水	なかよし班活動⑥
4	木	委員会⑥ スタディハビット⑪
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	4・6年：血液検査 通学班反省会
9	火	
10	水	
11	木	クラブ⑤ スタディハビット⑫
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	(祝) 敬老の日
16	火	
17	水	
18	木	5年：環境教育 クラブ⑥ スタディハビット⑬
19	金	運動会開始式
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	(祝) 秋分の日
24	水	なかよし班⑦
25	木	5年：環境教育 委員会⑦ スタディハビット⑭
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	運動会係会①

学んでいます!



【6月20日】

6年生は、バレーボール選手のすごさを目の当たりにした後、パスの仕方やアタックの打ち方を学び、楽しく汗を流しました。



【6月25日】

防災教育の一貫として、事前にテント設営を学んだ6年生がリードしながら、なかよし班で協力してテントを立てました。



【7月8日】

3年生は、学校北側の畑に植えた枝豆を観察し、豆腐作りができるように今度は大豆を植えました。収穫の日が楽しみです。

夏休み中も「あいさつ・いのち・うんどう・えんぴつ・おてつだい」の5つのことに心がけて、元気に過ごしましょう。